

## I 教育委員会の事務点検・評価制度の概要(報告書 P1・2)

- 1 対象年度 平成30年度
- 2 法令上の根拠 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第26条
- 3 評価方法 教育委員会の権限に属する事項について、教育委員会が自らの事務の適切な執行について確認するとともに、点検・評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図っている。  
 ※評価委員 学校教育分野：松尾 七重(まつお ななえ)氏 千葉大学教育学部教授(教育学部副学部長)
- 4 重点的に評価する事業等〔平成30年度の新規・拡充事業〕※( )は評価委員が視察・現地ヒアリング
  - (1) 小学校英語教育の推進(千葉市立幸町第三小学校)
  - (2) スクールサポートスタッフの配置(千葉市立加曽利中学校)

## II 教育委員会の活動状況(報告書 P3・4)

- 1 教育委員会会議を14回開催し、54件の議決を行った。
- 2 入学式等の学校行事や各種イベント、研修会、会議等に出席したほか、ホームページや教育だよりを活用した広報活動や市PTA連絡協議会との意見交換などを実施した。

## III 点検・評価の結果(報告書 P5～P63)

### 1 教育委員会による自己評価

平成28年3月に策定した「第2次千葉市学校教育推進計画(H28年度～R3年度)」に基づき点検・評価を行った。また、平成30年度は本計画の3年目であり、中間年度であることから、前半3年間の評価も行った。

#### (1) 平成30年度について

以下の事業について、重点的に評価を行った。

##### ア 小学校英語教育の推進(報告書 P13・14)

外国語指導助手を38人配置し、外国語活動を実施したほか、英語専科教員を5人5校に配置し、担任の負担軽減と質の高い英語教育の実践を図るとともに、英語教育支援員を12人配置し、教員に指導・助言を行った。また、英語免許取得者を増やすため、大学等の免許取得講座の受講を進め、12名の教員が免許取得に必要な単位を取得した。

##### イ スクールサポートスタッフの配置(報告書 P45・46)

スクールサポートスタッフ3名をモデル的に配置し、資料の印刷など、教員以外でもできる業務を担当することで、教員の負担軽減を図った。教員の勤務時間を除く在校時間が削減されるなど、一定の効果が見られた。

#### (2) 前半3年間の評価(中間報告)

##### ア 成果指標(報告書 P70～72)

学校教育分野では54項目のうち4項目で平成30年度末現状値が最終目標(令和3年度末目標)以上となっている(達成状況「◎」)。一方で、18項目が中間目標(平成30年度末目標)を下回っている(達成状況「×」)現状である。関連するアクションプランを推進し、最終目標値を達成できるよう努めていく。

##### イ アクションプラン(個別具体事業)(報告書 P73・74)

学校教育分野においては、全体の83%にあたる77の個別具体事業が概ね計画通り順調に進捗している一方で、16の事業においては計画に対して進捗状況の遅れが生じている。順調に進捗している事業については、最終目標を達成できるよう引き続き各事業の推進に努め、遅れが生じている事業については、今後の事業の進め方等について早期に検討していく。

## ★評価委員からの意見のポイント★(報告書 P65～P67)

### 全体について(総括的所見)

- ・学校教育推進計画(6年計画)の3年目の取り組みについては概ね良好な成果を得ていると評価することができる。
- ・全体を通して見れば、充実した取り組みがなされていることが分かる。目まぐるしく変化する時代の流れの中で、事業全体を見通して改革すべき点を見出し、それらを推進していくことが重要である。

### 小学校英語教育の推進について

- ・英語専科教員を5名採用している。様々に工夫された教材を利用して質の高い外国語活動の授業を展開していることで、子どもたちの学習意欲が高まり、英語活動を通してコミュニケーションを図る素地となる資質・能力の育成に貢献していることが窺える。

### スクールサポートスタッフの配置について

- ・スクールサポートスタッフは教員の業務のうち、教員が必ずしも行わなくてもよい業務を担当することができる。このような業務を実施するスタッフにより、教員の業務負担が軽減され、本来の教員業務に専念することが可能となる。実際に、スクールサポートスタッフを配置した学校では、教員の勤務時間を除く在校時間が削減されるなど、一定の効果が見られ、業務負担の軽減に繋がっていることが分かる。

## 評価委員の意見に対する対応(報告書 P68～69)

これまでの事務点検・評価において評価委員よりいただいた意見(抜粋)と、それに対する対応状況を右記の3つに区分して示しています。

なお、「○」は8項目、「△」は1項目であり、「×」の項目はありません。

区分	説明	項目数
○	意見に対する取組みについて検討し、実施しているもの。	8
△	意見に対する取組みについて検討しているもの。	1
×	未対応のもの。	0